

技術士 1 次試験に合格して



恩田 菜都美

(おんだ なつみ)

勤務先

北海道造園設計株式会社

設計室

〒060-0807 札幌市北区北 7 条西 2 丁目 6 山京ビル 408

TEL 011-758-2261 FAX 011-709-5341

E-mail n-onda@h-zoen.co.jp

■ 専門：建設部門

自己紹介

私は北海道北見市出身で、短期大学への進学を機に、札幌市に移りました。

大学では、図書館司書になるための課程へ進み、学習の中で生涯学習に関心を持ち、地方自治体へ事務職として就職をしました。

希望部署への配属はかないませんでした。業務の中で学校規模適正化を目的とした学校統合を経験しました。市民の方々と対話を行いながら、地域と地域の未来のために業務を行うことにやりがいを感じ、そういった仕事に生涯をかけて取り組みたいと考え委託先となる民間企業へ転職を決意しました。

また、前述の業務において、校舎の新築や用地造成等にも関わることができ、技術の世界に初めて触れる機会を得ることができました。

ご縁があり、現在の会社に出会い、公園の調査やワークショップ等の業務を担当しています。

入社して 1 年で、経験・知識ともに不足した未熟者ではありますが、地域に根付く公園づくりを市民の方々との対話を通して行い、それを図面で表現していく業務に喜びを感じ日々取り組んでいます。

受験のきっかけ

経歴により、業界関連の資格は受験資格がまだないものが多いなか、「技術士は未経験でも受験できる」という社長からの一言がきっかけでした。

入社初年度で、できることが少ない中、何かの形で会社に貢献し、自身の知識獲得につながればと考え、受験を決意しました。

受験体験

試験勉強は過去問テキストおよび、ジャンルごとの参考書を活用して行いました。

初めて過去問を解いた際は、ほぼ正解がなく、問

題文や解説が理解できない状態でした。そのため、単語の解説書やインターネット上の解説ブログ、建設や土木会社の HP など活用しながら、1 つずつ理解を進めました。

不得意分野である理系の勉強に激しいストレスを覚え、「これを来年もやるのは絶対に嫌だ」と思い、やる気が湧いてきたことを記憶しています。

まずは、文系問題に近い基礎科目と適正科目のうち、法律や倫理、社会情勢にかかわることを中心に、例題や過去問を繰り返し解きました。

次に専門分野も含んだ、全体の勉強に取り組みましたが、何度取り組んでも理解できない問題が多く、このまま全体の理解を目指しても試験に間に合わないと思い、恥ずかしながら捨問をつくることにしました…。土木、河川、道路、都市計画関係など自分の中で文章やストーリーとして理解しやすい問題に重点的に取り組みました。(参考書には簡単な計算問題もあるのであきらめないように、とありましたので、皆様なら回答できるのだと思います。)

当日は手ごたえが全くなく、不合格通知が届くの待っているような状況でしたが、ありがたいことに合格することができました。

私の勉強方法は、試験自体が求めていることとずれていると思いますが、少しでも文系出身受験者の方の励みになればと思い、恐縮ながら赤裸々に記載します。

おわりに

二次試験の受験資格を得るには最低 4 年必要なため、その間、業務に真摯に取り組む修習に励んでまいります。

最後に、業務を通じ様々なご指導やご助言をくださった皆様に心からお礼申し上げます。